

したがって1クラス大きいタービンが欲しい。Zのボディから見て最高速仕様はおもしろいと思うよ。このボディにRBが乗っていれば、330km/hオーバーも可能であると思う。しかし、VGに関しては高回転向きではないだけに、どこまでMAXスピードが伸びるか未知な部分がある。最高速トライアルにチャレンジする機会があれば、ぜひともやってみたいね。

情報では、これからもぞくぞくとスポーティ度の高いクルマが発表されるみたいだね。ノーマルでも十分速いと思うけど、チューニングしてやる所はいっぱいあると思う。これからもトータルバランスの高いクルマを作っています。

ノーマルの信頼性をそのままに、どこからでも速いクルマ作りを



GT SHOP
エンドレス
078-991-5711
代表
杉野康人さん

チューニングといっても、年々、ベースになるクルマ自体が良くなっているから、大きな改造をする人は少なくなっているね。エンジン

本体にまで手を入れようって人は、どんどん減っていくんじゃないかな。補器類の交換や強化で、いかにそのエンジンのポテンシャルを引き出せるか!—これがすべて。これからは、どこのチューニングショップでもこういった方向へ進んでいくんだと思う。まあ、それだけに、各チューナー、ショップとも腕の見せどころってここだね。

いまのユーザーは、どんどん贅沢になってきている。パワー、速さだけじゃもう納得してくれない。街での乗り易さ、そして壊れない強さ、ようするにノーマルの使い易さがそのままでなければいけないんだ。

ウチでも、最高速を抑えて、そのぶん加速性を重視するようなクルマ作りがメインになっているけど、今後はそれをさらに煮つめて、下から上、どこからでも加速できるようなクルマを作りたいね。最高速は270~280km/hぐらいがベストかな。300km/hオーバーを狙うようにしようと思ったら、多少とも下を犠牲にするようにしないといけないからね。

いま手掛けているフェアレディZを完成させるのが当面の目標。Zって、思ったより速いクルマじゃないんだ。エンジン自体はかなりいいものみたいなんだけど、タービン系がオソマツでガッカリ。「やっぱりZは、チューンしてなんぼのクルマやな」って思ったよ。他所よりは早くスタートしたつもりだから、なんかベストなパーツを見つけて、差をつけたチューニングをするようにガンバリたいね。

セッティングがいいだろうね。そうそう、T03Gのツインターボなんても一度試そうと思っている。

それと、来春にはコスモがフルモードルエンジンで、待望の3ローターツインターボを積んで出てくるようだ。すぐに入手して対応するから、楽しみにしてほしいね。ロータリー以外にも、いま作っているシルビアや、フェアレディZなども今後さらに力を入れていくから、こっちも期待してほしいね。

X-7用の大型インタークーラーを、いま公認申請している。こいつは早ければ年内にもOKが出るんで、そうなれば、またひとつ新しい流行が生まれるんじゃないかな。

New RX-7に関しては、エンジンの13Bターボが完成の域に達しているんで、マフラーとFCDだけで十分速くなる。もちろん、それ以上を望む人達のためにいろいろ研究中。ベストマッチのタービンを考えているんだけど、TD06S、T04Eなどの小さめのヤツで乗り易くて速い

アが楽しむ特別なモノから、誰でも気軽に乗ることができる普通のモノへと変わってきたいるんだね。藤田エンジニアリングとしても、「90年代は、“女性がちょっと買い物にでも乗って行けるチューニングカー作り”というのを、新しいテーマに加えていこうと思っているんだ。

また、誰でもが気軽にチューニングを楽しめるために、“違法ではないチューニング”というものにも力を入れたいと思っている。とりあえずその第一弾として新開発したNew R